

## よりよい宮小学校をつくるためのアンケートから24年度（自校アンケート集計結果の概要）

（ ）内は昨年度の割合

### （1）子どもたちのアンケート結果から

- ①「学校はとても楽しい・楽しいと思う」の回答は、1年生では99%（99%）、2年生87%（94%）、3年生93%（87%）、4年生は92%（89%）、5年生88%（92%）、6年生84%（89%）である。
- ②「友達と仲良くしているか」1年生は99%（95%）、2年生92%（96%）、3年生94%（95%）、4年生95%（91%）、5年生97%（98%）、6年生98%（94%）である。どの学年も高い。
- ③「毎日の勉強が分かるか」に対しては1年生88%（84%）、2年生70%（87%）、3年生83%（81%）、4年生74%（77%）、5年生80%（84%）、6年生79%（82%）がわかると答えている。4年生がやや低くなっている。
- ④「気持ちのよい挨拶ができるか」では、1年生83%（88%）、2年生88%（92%）、3年生83%（82%）、4年生74%（72%）、5年生74%（84%）、6年生72%（74%）である。4、5、6年生が自分に厳しい評価である。
- ⑤「掃除をいっしょうけんめいしているか」では1年生93%（93%）、2年生93%（94%）、3年生88%（88%）、4年生84%（78%）、5年生78%（93%）、6年生87%（91%）である。自己評価では、学年があがるにつれて自分に厳しい評価である。
- ⑥「いのちを大切に、学校や社会の決まりを守っているか」（3～6年生のみ回答）では3年生86%（83%）、4年生86%（78%）、5年生76%（95%）、6年生88%（79%）である。6年生の自己評価は高い。
- ⑦「家族に学校のできごとをよく話す」では「とてもそう思う、そう思う」の合計は1年生75%（82%）、2年生60%（76%）、3年生79%（82%）、4年生79%（76%）、5年生69%（85%）、6年生64%（70%）である。昨年度に比べあまり話さなくなっている傾向にある。
- ⑧「給食の時間は楽しみだ」では「とてもそう思う、そう思う」の合計は1年生95%（89%）、2年生77%（88%）、3年生89%（84%）、4年生79%（78%）、5年生80%（80%）、6年生66%（88%）である。

子どもたちは、「友達と仲良くしているか」については、全学年とも90%をこえている。

また「学校は楽しいか」については、1、3、4年生では90%をこえているが他の学年では90%を下回っている。「毎日の勉強が分かるか」については、自己評価は厳しく、80%前後にとどまっている。

### （2）保護者のアンケートから（学校に対して）

- ①「学校は学校の教育活動や子どもの様子を、保護者に分かりやすく伝えているか」「とてもそう思う、そう思う」が68%（68%）、「そう思わない」「あまり思わない」を合わせると30%（29%）である。

- ②「学校は、子どもにわかりやすい授業をくふうしているか」では、  
72%（75%）が「とてもそう思う、そう思う」と答え、否定的な意見は19%（17%）である。
- ③「学校は子どもの安全確保・健康管理の取り組みを十分におこなっているか」  
72%（78%）が「とてもそう思う、そう思う」と答えている。反対に否定的な意見は19%（16%）である。
- ④「学校はいじめをなくす学校・学級づくりに取り組んでいるか」という問では、  
58%（56%）が「とてもそう思う、そう思う」、「あまりそう思わない」が26%（24%）「思わない」が4%（5%）、「分からない」が16%（16%）となっている。
- ⑤「子ども一人一人が大切にされ、認められる小学校になっているか」では、「とてもそう思う、そう思う」が62%（59%）であるが、「あまり思わない」が21%（24%）「思わない」4%（4%）「分からない」は13%（13%）ある。
- ⑥「学校は、子どもに生命を大切に作る心や、社会のルールを守る態度を教育しているか」  
73%（72%）が「とてもそう思う、そう思う」と答えている。否定的な意見は14%（18%）である。
- ⑦「家庭・地域は、小学校に対してそれぞれの役割を果たし、連携協力しているか」では  
66%（70%）が「とてもそう思う、そう思う」と答えている。否定的な意見は23%（22%）である。

保護者の学校評価で厳しいのは、「いじめをなくす学級・学校づくりに取り組んでいるか」という問いである。肯定的な意見は58%（56%）しかなく。否定的な意見は26%（29%）、分からないは16%（16%）と高くなっている。また「子ども一人一人が大切にされ、認められる小学校になっているか」については、62%（59%）が肯定的、否定的な意見は25%（28%）、分からないが13%（13%）である。

### (3) 保護者のアンケートから（自分の子どもに対して）

- ⑧「自分の子どもが毎日楽しそうに小学校に通っているか」という問いには、  
95%（93%）の保護者が「とてもそう思う、まあそう思う」と答えている。
- ⑨「子どもは学習内容がわかり、基礎的な学力が身についているか」という問いに対しては、  
82%（79%）が「とてもそう思う、まあそう思う」ととらえている。17%（17%）が「あまりそう思っていない」で  
1%（3%）が「思っていない」
- ⑩「子どもは、小学校での出来事をよく話す」が「とてもそう思う・まあそう思う」が78%（77%）。
- ⑪「子どもは、だれにでも挨拶ができている」が「とてもそう思う・まあそう思う」が63%（64%）。
- ⑫「子どもは、給食の時間を楽しみにしている」が「とてもそう思う・まあそう思う」が80%（81%）。
- 教職員のアンケートで（36の質問項目のなかで回答は比較的良好であるが、「あまりそう思わない」と回答した割合が多い項目をあげてみると）
- ・ 道徳教育において「将来に夢をもたせている」については「とてもそう思う」「そう思う」合わせて91%（69%）であり、「あまりそう思わない」が12%（26%）となっている。

- ・ 道徳教育において「年間計画に基づき指導が行われ、授業時間の確保ができているか」については「とてもそう思う」26%（23%）「そう思う」62%（44%）、「あまりそう思わない」が18%（23%）ある。
- ・ 総合的な学習において「年間計画をもとに充実してすすめている」について「とてもそう思う」19%（15%）「そう思う」63%（56%）、「あまりそう思わない」が9%（21%）である。昨年度に比べて改善してきている
- ・ 「保護者や地域の学校への理解は得られているか」について、「あまりそう思わない」が6%（23%）ある。
- ・ 「保護者や地域への情報発信は十分にできているか。」について、「あまりそう思わない」が15%（21%）ある。

|                                                                 |
|-----------------------------------------------------------------|
| <p>教職員の回答は比較的肯定的であるが「あまりそう思わない」と回答している項目についての取り組みの改善が必要である。</p> |
|-----------------------------------------------------------------|